

vol.5

団地生活の安全・安心・快適をサポートします

JS plus
[ジェイエス・プラス]

JS LIFE DESIGN MAGAZINE

CONTENTS

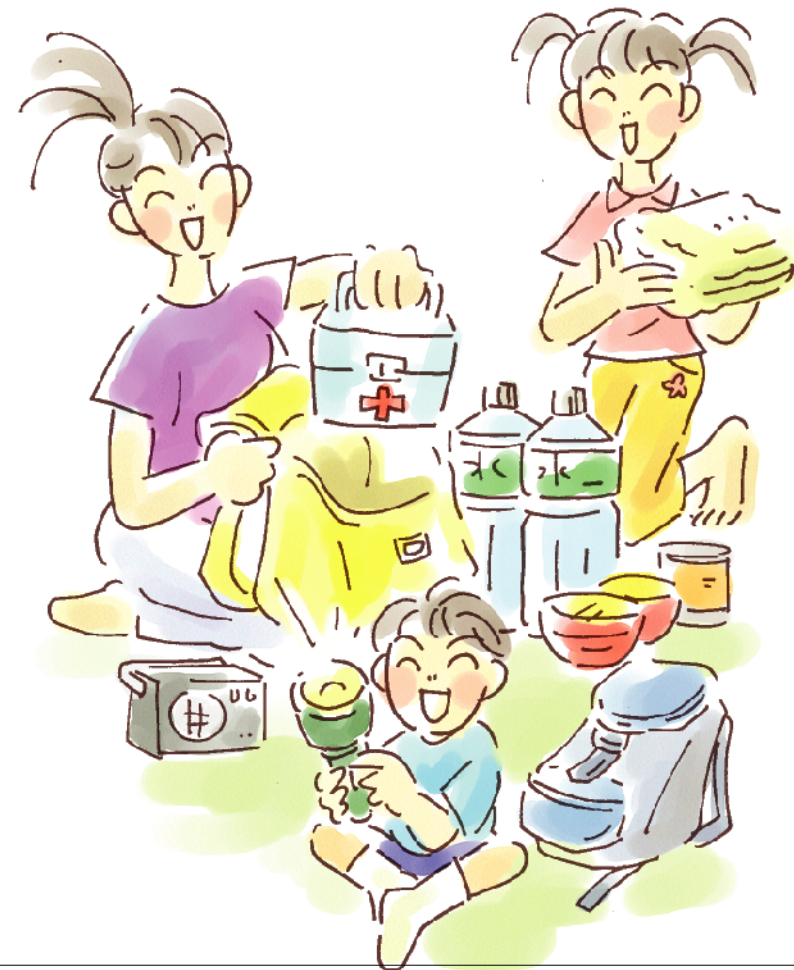


- 1 特集
今日からできる防災対策
- 7 快適住まいのミニ知識
外出先で地震が来たら…
- 8 CLOSE UP 団地ライフ
夢を託し、夢を語り合える自治会活動を。
愛知県江南市の江南団地自治会
- 10 随筆
「メモ帳から」その5 大槻茂
- 11 こんにちはJSです。
小修理受付業務は、お客様のご要望に応えられるよう
最善を尽くします。
- 12 読者のお便りから READER'S COLUMN
- 13 JSからのお知らせ JS INFORMATION

表紙イラスト：国分 チェミ

特集 今日からできる 防災対策

「大地震はいつ起こってもおかしくない」そんな地震列島に住んでいる私達はいざという時のために毎日の暮らしの中で何をしておくべきなのでしょう。時代が移り、災害への備え方も変化しています。防災、特に震災対策について知ることは不安を安心に変えることでもあります。大切な家族と自分の命を守るためにお家でできる防災対策の一步をスタートさせましょう。



安全な自宅は、家族と自分を守ってくれます。

『地震からわが子を守る防災の本』の著者である国崎信江さんのご自宅にお邪魔しました。阪神淡路大震災で多くの子どもが犠牲になったことを知り、小さな命を震災から守るにはどうしたらいいのか、それが防災の研究を始めたきっかけになったという国崎さん。震災はいつどこで起こるか分からないけれど、人生で一番長い時間過ごす「自宅」に焦点をあててお話を伺いました。



● 逃げ込む空間を作っておこう

「まず大切なことは、揺れを感じた時、“ここに逃げれば大丈夫”という空間を、家の中に一箇所作っておくことです。その空間は、家の中心に位置し、長い時間人が集まる場所が良いでしょう。わが家の安全地帯は、リビングのテーブルの下。市販の家庭用テーブルには、真下中央に1本の棒を取り付けています。1本補強するだけで車5台が上に乗ってもつぶれないという耐震テーブル（耐圧性能6トン）に変身します。また、椅子にはクッション

ンを常備。とっさの時に頭や首を保護できます。かつての震災対策は“揺れたら

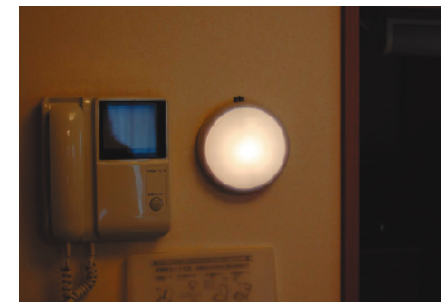
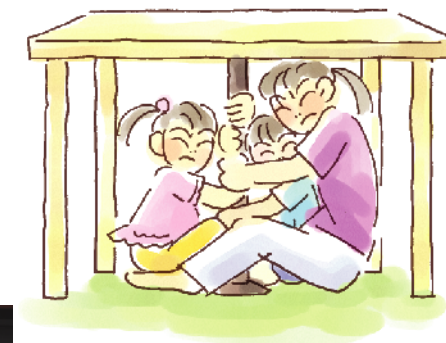


▲耐震補強のテーブル脚。国崎さんはインターネットで購入。15,000円程度。

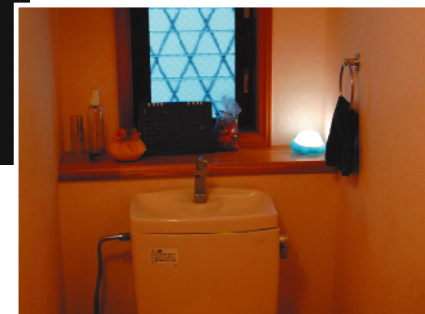
机の下にもぐる”という教えでしたが、普通の家庭用テーブルでは梁（はり）の下敷きになってしまいます。テーブルの下を避難場所とするならば、命を落とすことのないよう、しっかりと耐震補強をすることが重要です。

また、決めた空間まで一直線に逃げ込める動線を作っておくことも大切です。荷物が邪魔になったり、迂回しないとたどり着けないことのないよう

確認してください。1階に住む方は、外に出る逃げ道を確保することもひとつの方法です」



▲ワンタッチでライトがつく。電池式。突然の暗闇もこれさえあれば！



▼トイレでの突然の停電でパニックにならないように。



国崎信江さん

外資系航空会社の機内通訳から危機管理対策アドバイザーに。新潟県やインドネシアのバンダアチエの被災地で子ども対象に心のケアの支援も行なう。



●家の中の危険を点検しよう

「阪神淡路大震災では、亡くなった方の87%が家の倒壊や家具や電化製品の下敷きによる圧死でした。その事実をふまえると、まず優先すべきことは“自宅を安全なものにする”ことです。建物の耐震性を知ることや家具の固定が必要なのです。一度、自宅の各部屋を見渡し、落ちたり倒れたりしそうな危険なものはないか、逃げ道をふさぐものはないかなどを点検してみましょう」

●防災対策は、一番弱い立場の家人の視点で

「大きな揺れだと家具や電化製品は飛んで移動し凶器と化します。大人は避けることが出来たとしても、置いている位置によっては子どもの頭を直撃することもあるのです。そんなことにならないよう、私はテレビ、FAX、電子レンジなど家にあるほとんどのものを耐震用のゲル状マットで固定しています。これは、強い粘着力と優れた衝撃吸収性をもち固定したいものの底面に貼り付けるだけ。キズもつかないし、跡も残らない。水洗いすると何度でも使えます。しかし、防災用品

への過信は禁物です。幾重にも固定するにこしたことはありません。防災用品は、命を守ってくれるというより、逃げる時間を作ってくれるものだと考えてください」

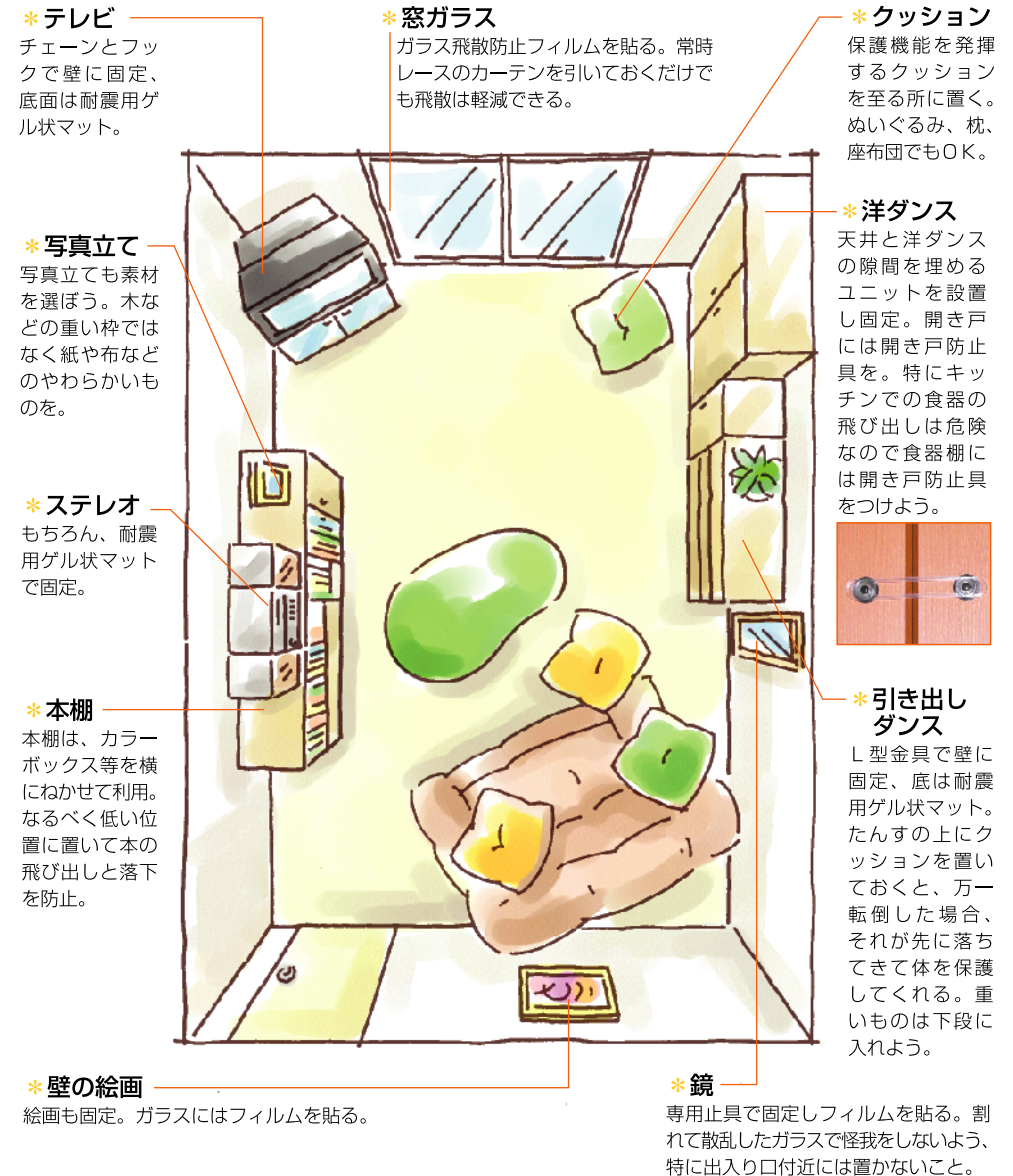
▶天井と冷蔵庫の隙間を埋める収納家具で転倒防止。大型家具は「面」で固定すること。



▲耐震用ゲル状マットを底4箇所敷いて固定。大型家具用もある。



◀重い衣装ケースが飛び出さないように丈夫なひもで固定。



※UR賃貸住宅の場合、家具転倒防止のため、付鴨居を補強するなど工作物設置の模様替え基準を定めています。ご希望の方は、「模様替え等願」の提出が必要です。詳しくは、管理サービス事務所等へお問い合わせください。

●震災をシミュレーションしてみる

「非常持ち出し袋を準備しただけで、完璧な防災対策をしている気になることがあります。しかし、自宅の家具が転倒し下敷きになってしまえばそれも役に立ちません。あまり想像したくないことですが、被災した様子を頭の中でシミュレーションしてみると何が必要か絞られてきます。まず命を守るためには、自宅での安全確保が第一でしたね。次に逃げる時の非常持ち出し品は、配給されないもので自分にとって必要なもの、例えば入れ歯や眼鏡、常備薬など特に健康に関わるものを優先して備えましょう。また、食べることは少々我慢できても排泄はそうはいきませんね。携帯簡易トイレはあったほうがいいです。

いざという時の重要度と緊急度を想定して最優先すべき対策は何かを日頃から意識しておくことが、震災の備えにつながります」

手作りの“非常持ち出し品ベスト”。ポケットには、着替え、ライト、軍手、ティッシュ、水、非常食、携帯簡易トイレ、お気に入りのおもちゃなど。防寒着にもなります。



「“防災”という、暗いイメージになりがちですが、我が家での持ち出し品の準備は、何が子どもと一緒に考えながら、それぞれのポケットに楽しんで詰めました。過剰な恐怖心を抱かせないよう、子どもを交えて防災について考えたり行動したいですね」

家族防災会議を開こう

家族の連絡方法を予め話し合っておき、行き違いのないように避難所までのルートを実際に歩いて確認しておきましょう。「取引銀行、保険証関係、パスポート、免許証などの番号を控えた一覧表を常に持ち歩いています。一人暮らしの方は、遠方に住む信頼できる人に預けておくといいですね」と国崎さん。

安否情報の確認は？

震災直後は通信が混乱するので、非常に電話がかかりにくくなります。安否確認が目的ならば「NTT 災害伝言ダイヤル 171（イナイ）」を活用しましょう。災害時のみの優先回線で、音声ガイドに従って利用すればお互いのメッセージを聞くことができます。他には、携帯電話各社の「災害用伝言板」。これは、インターネット接続サービスなので携帯電話はかからなくても、通じやすい通信手段です。被災地から自分の安否情報を登録するシステムで、登録伝言は他社の携帯やパソコンからも確認できます。



防災フェアに行った際、無料で作ってもらったサバイバルカード。「子どもと離れ離れになった時、写真付きは便利。このカードを見せて探せます」

外出先で地震が来たら…?

快適
住まいの
ミニ知識

今回は家の外での生活ミニ知識。それぞれの場所で地震が来たらどう行動すればよいか、イメージトレーニングしてください。

密室、エレベーターで…

エレベーターに乗っていて地震を感じたら、地震感知装置のついているタイプは地震が起こると自動的に最寄りの階にとまります。この装置のついていないタイプは最寄りの階数ボタンを押して止まった階で降ります。万一、エレベーターが階と階の間で停止した場合、無理に脱出しようとするのは大変危険です。すぐに非常電話を使って救助を求め、応答がなくても諦めずに何度も繰り返すことが大切です。

落下物に注意、繁華街で…

繁華街では、地震の揺れで、ビルから看板やガラスの破片が落ちてくる恐れがあります。頭をかばんなどで守り、建物から離れ、広い場所にすばやく避難。状況によりますが、丈夫そうな建物や地下道の入口に避難することも選択肢のひとつです。街中では電線が垂れ下がってくる恐れもあり、倒れる危険のある自販機やブロック塀にも注意が必要です。

パニックが危険、駅や地下街で…

駅のホームにいるときに一番怖い事態は線路に落ちてしまうことです。看

板や掲示板、自販機から離れて、ベンチや柱につかまります。逃げる場所がない

ときには、止まっている電車があれば飛び乗りましょう。また地下街では、60mおきに出口が設けられていて、停電の場合も誘導灯はついているので、冷静さを失わないことが大切です。

津波の最高時速500km、海で…

海底を震源とする地震では、津波がおきるおそれがあります。大きな地震なら情報を待つまでもなく、できるだけ早く高台に避難しましょう。近くに高台がなければ、鉄筋の建物の3階以上に避難して下さい。50センチぐらいの津波でも巻き込まれて亡くなるケースもあります。車は動くまで時間がかかり、渋滞の危険性もあるので、とにかく自分の足で走りましょう。リアモーターカーなみの早さの津波から逃れるためには、できるだけ早いスタートをきることです。



夢を託し、夢を語り合える自治会活動を。

愛知県江南市の江南団地自治会

●木曾川の恵み豊かなふるさと

木曾川の南に位置する江南駅は、かつては「古知野（こちの）駅」といいました。木曾川の湧き水による小池がたくさんあることから「小池野」という地名が生まれ、それに雅字をあて「古知野」になったそうです。昭和43年に入居が開始して以来、団地の水道はこの自然の恵みを受け、井戸から組み上げられた水を利用。今も3823世帯の暮らしを潤しています。早速、自慢の美味しい水をすすめてくださった自治会長の楓健年さんに、ユーモアたっぷりのお話を聞かせていただきました。



■江南団地自治会長 楓健年さん

●緊急時に強い組織づくり

「阪神淡路大震災の前年に、“自主防災会”が発足しました。独立した組織として運営し、1戸につき400円の会費を集めています。発足当時は、会費を集める防災会は他に例がないのか行政に反対されましたが、その後、阪神淡路大震災をはじめ、各地で起こる災害の教訓から防災への関心が高まり、現在では自主運営の必要性和活動内容が評価されています」続いて自主防災会の主な活動内容をお聞きしました。

「毎年2回、薪を使った炊き出し訓練を行い

ます。団地内を5つのブロックに分け、9月はブロック別に、3月は5ブロック合同で実施します。合同炊き出し訓練は、夜の災害を想定して17時開始。各ブロックが用意するメニューは様々で、参加者にとって食べ歩き自由という楽しみもあるようです。本当に災害が起きてしまったら働き盛りの男性は会社の復旧活動に駆り出されるでしょうから、あまりアテにできないでしょうね（笑）。活躍するのは何といても地域に根づいている女性軍です。緊急時は、正確な情報をすばやく伝えることが一番重要です。そのためには指揮系統を1本化した組織作りが大切ですね」昨年2月に発生した大規模な断水時には、自主防災会の炊き出しや拡声器での広報が力を発揮したそうです。住民の混乱を最小限に抑えられたのは日ごろの訓練の賜物なのでしょう。



■自主防災会オリジナルのほっぴを着て炊き出し訓練。



■1ブロックの人たちが150食分作ります！。

今回は、愛知県江南市の江南団地自治会。豊かな木立が茂る団地内の自治会事務所を訪ねました。



■朝の2時間が生むコミュニケーションに期待

●朝の2時間が生むコミュニケーションに期待

「6年前までは団地内はごみの山でした。資源ごみの分別はされず、他の地域からの不法投棄も。“これはひどすぎる。なんとかしなければ”という住民の雰囲気を感じた時、分別収集を一举にスタートさせました。同時に、収集日の立ち当番制を導入したのです。当番の仕事は、前日に業者が持ってくる29品目の分別回収容器を不法投棄されないように保管しておくことと当日朝の収集時間（6時半から8時半）までに容器を指定場所に並べ、約2時間、収集に立ち会うこと。当番は1年～1年半に1度の周期で、同じ棟の1階から5階までの5軒が担当。例外は一切認めず、都合がつかない場合は、この5軒同士で話し合い助け合ってもらうことにしています。これも住民同士のコミュニケーション作りを担っていると考えています。寒い冬には、立ち当番の人のために温かい飲み物を差し入れたりしてくれる人がいるんですよ。このようなつながりが自主的に広まればうれしいですね」と楓会長。新しい試みの当初は、ご苦労もあったのでは？との質問に「苦情を言うてくる人は問題意識を持っている

証拠なので大切な存在です。ただしその苦情が住民のごく一部のものなのか、全体の代表として浮かび上がった問題なのかを見極めるのが大切ですけどね」

●たて糸よこ糸の交わった自治会活動を

自治会主催の“団地祭”は、10月の運動会を皮切りに約3ヶ月間実施し、おみこし、マーじゃん大会、ソフトバレー大会、バス旅行など様々な年齢層を対象とした行事が目白押しです。

「今の時代、団地内でコミュニケーションを築くには幾層もの仕掛けが必要です。子ども、主婦、年配者、お年寄りなどがそれぞれの得意な分野を発揮できる場を作り、関わり合ってもらいたいですね。団地は、大人にとっては人生の通過駅、子どもにとっては始発駅です。住民が団地生活に夢をもち、その夢を周りの人に語り合えることが大切です」住民の夢とロマンと情熱に支えられ今



■手作りのおみこしを担いで団地内を練り歩きます。

日まで歩んできた江南団地自治会。楓会長の次なる夢は、「絶好の社交場である銭湯を団地内につく



「メモ帳から」その5

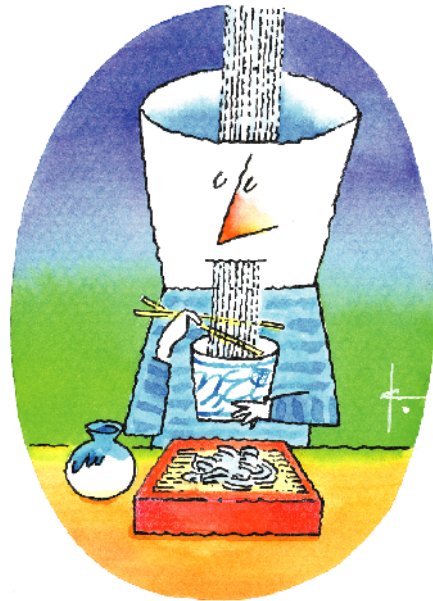
大槻茂

子供のころ、父に連れられてよく芝居見物に出かけた。昭和20年代半ば、まだ小学校に入る前からのことで、劇場は東劇、新橋演舞場、明治座などだった。中でも、父が菊五郎劇団、新国劇を最上にしてきたこともあり、そのホームグラウンド的な明治座に行くことが多かった。行き帰りによく立ち寄ったのが、外食券のいらなかったそば屋である。だからというわけでもあるまいが、食べ続けて50余年、そば好きは人後に落ちない。

新聞記者、それも社会部という仕事柄、全国各地に出張する機会があったが、その合間を縫っては地元で評判のそば屋に入ったものだ。次に来る機会はないかもしれないと思うので、いつも冷たいそばと温かい種物の二品を食べた。そして、主人とそばの話をした。その蓄積があつてか、読売新聞紙上でそばの連載を書き、そばの蓄積本を何冊か上梓する機会に恵まれた。

数年前までは、どこそこにかかわりの主人のうまいそば屋がある、などと聞くとすぐに出かけたが、近ごろはめったに探訪しない。評判になる店のほとんどが、脱サラの主人で、似たような手打ち麺と汁しか出てこないことが多いからだ。ちっとも面白くないし、気取った客を見ながら食べるのも疲れる。

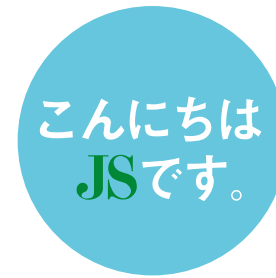
最近、自宅（鎌倉市材木座）近くのそば屋が気に入っている。初老の夫婦が切り盛りする、ごく普通の、いわゆる近所のおそば屋さんである。サバ節の利いた汁のにおい、やわらかい機械打ちの麺。妙に懐かしく、ほっとする味わいのそばである。



イラスト・ナメ川コーイチ

大槻茂 SHIGERU OHTSUKI
読売新聞社に入社後、社会部、生活情報部を経て、現在、青森大学客員教授。主な著書に「新天皇家の人々」「そばとどん」「渋谷天外伝」など。

滑川公一 KOHICHI NAMEKAWA
イラスト・漫画修業のため渡仏。帰国後に個展「パリと猫と…」。'82年度日本漫画家協会優秀賞受賞する。作品に「世界のショートショート傑作選」「なにぬねこ」など。



小修理受付業務は、お客様のご要望に 応えられるよう最善を尽くします。

水まわりのトラブルから畳や襖の交換など部屋の模様替えに至るまで、家の中の小規模な修理の依頼に対し電話窓口となる「小修理受付業務」。千葉県柏市にあるJSの千葉北支店を訪ね、担当の永長麻里さんにお話を伺いました。

Q.小修理受付業務の仕事って？

---千葉北支店では、46団地、約3万戸の賃貸住宅を管轄しています。4人のスタッフが平日の9時から5時まで小修理に関する問い合わせに電話で対応し、修理を希望されたお宅には技術スタッフを手配します。一番多い問い合わせ内容は、トイレの取水不良や蛇口の水漏れなど水まわりのトラブルですね。その他には、ドアノブ等の故障や鍵を紛失したので交換して欲しいという依頼も。お客様にとっては緊急を要することが多いので、直ちに連絡をとり、修理のための訪問日程を調整します。



Q.心がけていることは？

---「今日すぐに来てほしい!」と言われることがあるのですがそういうときは技術スタッフたちの予定を変更せざるをえないこともあり、調整がとても難しい。でも、粘り強く何度でも連絡を取り合い最善を尽くします。それでもお客様の希望に添えない場合は、事情を説明しご理解いただいています。ご希望に添えるためには急を要する場合を除き、余裕をもってご連絡いただければありがたいですね。担当の4人が受けたそれぞれの問い合わせやお客様のご意

見を報告し合い共有することを大切にしています。そういった情報交換によって最善の処理のためのノウハウを覚えていきました。

Q.モットーにしていることは？

---見積もりの際、想定される修理費用の最低額と最高額を提示し、金額に幅をもたせて伝えることです。なぜなら、電話では故障の状態や入居年数をお聞きした後、修理の見積もり額を伝えるのですが、例えば部品の多いトイレ修理の場合、お客様を訪問した技術スタッフの判断で取替え部品が決まるケースが多いからです。予想最高額を聞いて「高いね」とおっしゃるお客様もいらっしゃいますが、安く見積もって後で高くなった、などということのないよう予想できる範囲の価格を正直にお伝えすることが私達の誠意だと考えています。



「電話は相手の顔が見えないだけに、ひと言ひと言を大切にします」と永長さん。



常に誠実に接しようとする姿勢は、実は電話では見えない彼女の笑顔にもっともよく現れているのですが。

次号秋号に向けて、新しい投稿企画を立てました。どうぞふるってご参加ください。

「おたより」

今年で入居34年になります。この先も安心して住み続けられますように！ JSさんの高齢者へのサービス(ゴミ出しサービス)があるのはうれしいと思います。西宮市/O・Tさん

模様替えの実例など紹介して欲しいと思います。あと、自分でできる補修の知識も知りたいです。 藤沢市・善行団地/Y・Tさん

JSで働いている方から見た団地が、どんな風にうつっているのか、聞いてみたいと思いました。 知多市・朝倉団地/S・Tさん

4号の特集リサイクル術、参考にさせていただきます。古いヤカンが欲しくなりました。 町田市・藤の台団地/K・Yさん

「ウチの団地の花自慢」写真募集

皆さんの団地の自慢の花や花壇を次号の読者コーナーで紹介したいと思います。春に咲いた花や花壇のプリント写真を下記のJS

◆川柳、団地生活気質◆

だんちせいかつかたぎ

団地だけにとどまらず、何気ない家族とのやり取りや気になる世間の流行なども取り入れて、生活全般を思いつくままの言葉で五・七・五に並べて下さい。

わが町の 銀座はサンダル トレンディ
サザエさん

夏旅行 家族会議は 母くじ強し
ただのビール好き

孫よりも レッサーパンダが うまく立ち
好々爺

団地内 桜咲く迄よ 花粉症
春野すみれ

お便りをお待ちしています。

「花自慢」や「川柳」以外にも、JSplusを読んだご感想、ご意見、団地ならではのお話等、なんでもけっこうです。お便りをください。掲載させていただいた方には謝礼をお送りいたします。

宛先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-9

JS日本総合住生活(株)広報課 「JSplus読者のお便りから」係

* お便りには郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を書き添えてください。匿名希望の方はその旨明記してください。

●JS修繕相談会に160名の来場者



神奈川西支店では4月23日に「鶴が台団地(茅ヶ崎市)」で修繕相談会を開催。160名ほどの来場者が訪れて、修繕の相談や申し込みが行われました。この修繕相談会は昨年8月に埼玉支店で始められたもので、神奈川支社でも昨年12月と今年2月に横浜市内の団地で行った修繕相談会に続く開催となりました。当日の会場では、浴室・トイレの塗装や床の張替え、水道のシングルレバー化やパッキンの取替え、電気スイッチ交換など、問い合わせも含めて約70件の修繕の依頼をお受けいたしました。また、修繕以外でも、家具の転倒防止器具などの防災グッズの販売等も好評でした。団地自治会の「自治会

だより」で相談会を事前PRしていただいたことも、多くの人を呼びここのできた要因のようです。

●第17期モニター会議が発足

昭和55年よりスタートした「モニター会議」も今回で17期を迎えます。このモニター制度は、JSに対する意見や要望、あるいは生活をおくる上での提案を居住者の皆様からお寄せいただき、JSの企業活動の参考にさせていただこうというものです。これまで延べ1015名の方にご協力をいただきました。そして今回の17期モニター83名の方に、今年2月より2年の委嘱期間でお願いし、各種業務紹介等の6回の会議を通してさまざまなお意見をいただくこととなります。お褒めの言葉、辛口言葉、新たな提案等々、どんな意見がいただけるのか、今から期待しています。

●JSplusが弊社ホームページに掲載されました

JSplusは、創刊以来通算第5号となりましたが、このたび、弊社ホームページにバックナンバーを掲載いたしました。ぜひ、ホームページ上でも、JSplusをご覧ください。

ホームページアドレス

http://www.js-net.jp/

トップページ→社会貢献活動・広報誌→

JSplus→表紙の順にクリック